

授業科目

高次脳機能障害作業療法学

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 能登 真一 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 作業 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |

授業の概要

脳損傷によって生じる様々な高次脳機能障害に対して、効果的な作業療法を実施するために、治療戦略やその実際の方法を学習する

授業の目的

高次脳機能障害を有する対象者に効果的な作業療法を実施できるようにすること

学習目標

- 1.高次脳機能障害の回復過程を述べることができる
- 2.高次脳機能障害に対する作業療法アプローチの目的について列記することができる
- 3.失語に対する作業療法の実際を説明することができる
- 4.失行に対する作業療法の実際を説明することができる
- 5.半側空間無視に対する作業療法の実際を説明することができる
- 6.高次脳機能障害患者に対する環境調整と家族指導の必要性について議論することができる
- 7.高次脳機能障害に関心を持ち、それらの治療に貢献しようとする意欲と態度を身につける

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|-------------------------|--------------|-------|
| 1 | 高次脳機能障害の回復過程と治療メカニズム | 講義 | 能登 真一 |
| 2 | 高次脳機能障害に対する作業療法アプローチの目的 | 講義 | 能登 真一 |
| 3 | 失行に対する作業療法 | 講義, 演習 | 能登 真一 |
| 4 | 失認に対する作業療法 | 講義, 演習 | 能登 真一 |
| 5 | 半側空間無視に対する作業療法 | 講義, 演習 | 能登 真一 |
| 6 | 前頭葉症状に対する作業療法 | 講義, 演習 | 能登 真一 |
| 7 | 認知症に対する作業療法 | 講義, 演習 | 能登 真一 |
| 8 | まとめ | 講義 | 能登 真一 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|---------------------|----------|------|-------|----------|-----|
| 教科書 | 標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 | 能登 真一 編集 | 医学書院 | 2012年 | 3,800円+税 | |
| 参考書 | PT・OTのための高次脳機能障害ABC | 網本 和 他 | 文光堂 | 2015年 | 5,940円+税 | |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

期末試験 (80%) + レポート (20%)

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

月曜日 12:00~15:00
火曜日 13:00~15:00
noto@nuhw.ac.jp